

## 和歌山市入札監視委員会(令和元年度第2回) 議事概要

開催日及び場所	令和2年1月30日(木) 和歌山市役所 東庁舎4階 入札室		
出席委員氏名	井伊 博行 (委員長) 池田 裕明 毛満 良子  <div style="text-align: right;">五十音順</div>		
審議対象期間	平成31年4月1日～令和元年9月30日		
抽出案件(総件数)	都市建設局 2件 企業局 1件	議 事 1 入札及び契約手続の状況について 2 抽出事案について 3 その他	
一般競争入札 (事前審査型)	都市建設局 1件 企業局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(郵送方式))	都市建設局 1件 企業局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(持参方式))	都市建設局 1件 企業局 1件		
一般競争入札 (事後審査型(電子入札方式))	都市建設局 2件 企業局 1件		
公募型指名競争入札	都市建設局 1件 企業局 1件		
指名競争入札	都市建設局 1件 企業局 1件		
随意契約	都市建設局 1件 企業局 1件		
委員からの意見・質問、それに対する回答	意見・質問		回 答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による建議の内容	なし		

和歌山市入札監視委員会  
令和元年度 第2回 会議録

<p>[事後審査型一般競争入札（電子入札方式）]</p> <p>① 市民会館（仮称）市民文化交流センター新築工事</p>	<p>（事務局） 抽出事案の概要説明</p> <p>本工事は、老朽化が進行している現在の市民会館の代わりに、この市役所の隣の伏虎中学校跡地に新しい市民会館を建設する工事です。</p> <p>本工事は、昨年、平成31年1月25日に1回目の入札を行いました。入札参加者がなく、取りやめとなりました。</p> <p>その翌月、2月22日に、建築、電気、機械を一括発注とした上で、再入札を行いました。入札参加者がなく、再び取りやめとなりました。</p> <p>そのため、設計内容等を再度精査し、建築の予定価格（税込）を約15億円増やし、改めて、建築、電気、機械を分離して再々入札を行ったのが本案件になります。</p> <p>市民会館は、舞台や音響など特殊な建造物であり、80億円を超える大規模な案件ということで、入札参加者が少なかったものと考えられます。</p> <p>（委員）</p> <p>応札が共同企業体しかなかったが、単体でも参加できたんですね？</p> <p>（事務局）</p> <p>市内業者は単体でも参加できました。</p> <p>共同企業体は、共同施工を通じて技術移転が期待されることから、県外業者でも市内業者を構成員とした共同企業体を結成することで参加できました。</p> <p>（委員）</p> <p>工期はどれくらいですか？</p>
--	---

<p>[事後審査型一般競争入札（電子入札方式）] ② 河西橋下部工（P 2）橋脚築造工事</p>	<p>（事務局） 810日です。 来年の秋頃の開館を目指しています。</p> <p>（委員） 2回の不調を受けて、どこを見直したんですか？</p> <p>（事務局） 3回目の入札では、労務単価の見直しや、材料費等を実勢価格に合わせ、予定価格を引き上げました。</p> <p>（委員） それでようやく入札が成立したと。 それでも3者しか来てくれなかったんですね。</p> <p>（事務局） やはりホールという特殊な建造物で、規模も大きいことから、参加者が限られたのではないかと思います。</p> <p>（事務局） 抽出事案の概要説明 本工事は、一級河川である紀の川に架かる河西橋の橋梁健全度が低下している事により、早急に安全な通行ができるよう橋梁の架け替え工事を行い、市民の安全で快適な道路環境を確保することを目的とするものです。 河西橋の橋脚は7本（P 1～P 7）あり、これまでに、P 1とP 3～P 7までの橋脚が完成しており、今回のP 2の工事で橋脚ができあがることとなります。 ニューマチックケーソン工法という特殊な工法を採用していること、また、河川内で施工する工事のため、施工管理や安全対策等において企業努力で経費を削減することが困難なことなどが</p>
--	--

ら、入札参加者が2者と少なく、高い落札率になったものと考えられます。

(委員)

今回が最後の橋脚ということですが、これまでの6本の橋脚の入札結果はどんな感じでしたか？

(事務局)

最初に、平成28年度にP7を発注し、予定価格約3億6千万円に対し、契約金額約3億3千万円で、落札率92.3%。

次に、平成29年度にP1、P5、P6を一括して発注し、予定価格約13億円に対し、契約金額約11億円で、落札率86.9%。

平成30年度に、P3、P4を発注し、予定価格約10億8千万円に対し、契約金額約10億2千万円で、落札率94.9%となっています。

いずれも今回と同じニューマチックケーソン工法です。

(委員)

橋脚が地上にあるとか川の中とかでも違うんだろうけど、やっぱり規模が大きいほど安くなるんですね。

(事務局)

仮架橋など仮設費用を考えるとそうなります。ただ、一括してやるとなると、補助金の関係や、6か月という渇水期の期間内のできるかなど難しいところがあります。

(委員)

全体の事業費はいくらぐらいを予定しているんですか？

(事務局)

<p>[事後審査型一般競争入札（電子入札方式）]</p> <p>③ 六十谷第2浄水場東沈殿池築造工事</p>	<p>令和5年度に新しい橋が完成し、そのあと現在の河西橋を撤去する予定となっており、その撤去費まで含めて総額約54億円の予定です。</p> <p>(事務局) 抽出事案の概要説明</p> <p>本工事は、六十谷第2浄水場の東側に、紀の川の水を原水として工業用水にするための浄水処理施設である、沈殿池を新たに築造するものです。</p> <p>六十谷第1、第2浄水場は、日本製鉄をはじめ、和歌山市内の工場等へ工業用水を供給している浄水場で、老朽化が進んでいることから、耐震化と統廃合を合わせて整備する事業を行っており、本工事で築造する沈殿池もその一つであります。</p> <p>入札参加者数については、本工事の工事場所は、稼働している浄水場内であることや、埋蔵文化財包蔵地にあたることから、工事の進捗が円滑に進まないリスクも想定されること。</p> <p>また、単体企業として市内業者が参加するには、施工実績のある業者が少なかった上に、共同企業体の代表者として県外のゼネコンが参加するには予定価格がそれほど高くなく、東京オリンピックや大阪万博などの影響もあり、入札参加者が少なくなったものと考えられます。</p> <p>(委員)</p> <p>はい。わかりました。</p> <p>(委員)</p> <p>今回の抽出案件はいずれも「入札参加者が少ない」ということだが、全体としてはどんな感じなんですか？</p> <p>(事務局)</p> <p>今年度は不調が多くなっています。金額の安</p>
--	--

	<p>い・高いに関係なく不調が発生しており、例年の3倍ぐらいになっています。業者の話では、人手がなく、ガードマンもないようです。</p> <p>(委員)</p> <p>建設業は好況ということなんだろうけど、一方で、深刻な人手不足が問題。建設業も真剣に働き方改革に取り組まないと、若い人も辞めてしまし、働きたいと思う人もいなくなってしまう。</p> <p>国交省は週休二日制とかに取り組んでるみたいけど、和歌山市はどんな感じですか？</p> <p>(事務局)</p> <p>国がそういう取組みを始めていることは知っており、和歌山市も国や県などの取組みを研究し、取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>【その他】 特になし</p>	